

注3

大学番号：私179

[平成26年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

東京農業大学 応用生物科学部 食品安全健康学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人東京農業大学
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 大学改革推進室

職名・氏名 大学改革推進室次長 ムラコシ 村越 ノボル 伸

電話番号 03-5477-2650

（夜間） 03-5477-2650

F A X 03-5477-2804

e-mail n1mukako@nodai.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人東京農業大学

(2) 大学名 東京農業大学

(3) 大学の位置

〒156-8502
東京都世田谷区桜丘1丁目1番1号

- ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

| 職名 | 設置時 | 変更状況 | 備考 |
|------|-------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|
| 理事長 | (オオサワ カンジュ) 大澤 貫寿 (平成23年7月) | | |
| 学長 | (オオサワ カンジュ) 大澤 貫寿 平成17年7月 | (タカノ カツミ) 高野 克己 平成25年7月 | 東京農業大学長選挙により 平成25年7月付で変更 (26) |
| 学部長 | (スズキ カズハル) 鈴木 和春 平成22年4月 | (ニイムラ ヨウイチ) 新村 洋一 平成26年4月 | 任期満了に伴い平成26年4 月1日付で変更 (26) |
| 学科長等 | (アベ ナオキ) 阿部 尚樹 平成26年4月 | | |

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)

平成26年度に報告する内容 → (26)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成23年度開設の4年制の学科の場合(平成26年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

| 調査対象学部等の名称(学位) | 設置時の計画 | | | | 備考 |
|--------------------------------|--------|------|------------|------|----|
| | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | |
| 応用生物科学部 栄養科学科 学士(応用生物科学) | 4年 | 140人 | 3年次 10人 | 580人 | |

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

| 区分 | 対象年度 | | 平成24年度 | | 平成25年度 | | 平成26年度 | | 平均入学定員 超過率 | 備考 |
|----------------|--------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------------|---|
| | 平成23年度 | | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | | |
| A 入学定員 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 140人 | 0人 | 1.12倍 | 留学生としての入学定員は定めていないが外国人留学生のための入試(募集定員:若干名)を実施している。 |
| | () | () | () | () | () | () | (-) | (-) | | |
| | [] | [] | [] | [] | [] | [] | [-] | [-] | | |
| 志願者数 | () | () | () | () | () | () | 2341 | - | | |
| | [] | [] | [] | [] | [] | [] | [3] | [-] | | |
| 受験者数 | () | () | () | () | () | () | 2309 | - | | |
| | [] | [] | [] | [] | [] | [] | [3] | [-] | | |
| 合格者数 | () | () | () | () | () | () | 506 | - | | |
| | [] | [] | [] | [] | [] | [] | [0] | [-] | | |
| B 入学者数 | () | () | () | () | () | () | 158 | - | | |
| | [] | [] | [] | [] | [] | [] | [0] | [-] | | |
| 入学定員超過率 B/A | | | | | | | 1.12 | | | |

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

| 学年 | 平成23年度 | | 平成24年度 | | 平成25年度 | | 平成26年度 | | 備 考 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|-----|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | |
| 1年次 | [-] | [-] | [-] | [-] | [-] | [-] | [158] | [-] | |
| 2年次 | / | | [-] | [-] | [-] | [-] | [-] | [-] | |
| 3年次 | / | | / | | [-] | [-] | [-] | [-] | |
| 4年次 | / | | / | | / | | [-] | [-] | |
| 計 | [-] | | [-] | | [-] | | [158] | | |

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

| 区分 対象年度 | 入学者数(b) | 退学者数(a) | 退学者数(内訳) | | | 主な退学理由 | 入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b) |
|---------------|---------|---------|----------|------|-----------------|--------|----------------------------------|
| | | | 退学した年度 | 退学者数 | 退学者数の うち留学生数 | | |
| 平成23年度 入学者 | — 人 | — 人 | 平成23年度 | 人 | 人 | | — % |
| | | | 平成24年度 | 人 | 人 | | |
| | | | 平成25年度 | 人 | 人 | | |
| | | | 平成26年度 | 人 | 人 | | |
| 平成24年度 入学者 | — 人 | — 人 | 平成24年度 | 人 | 人 | | — % |
| | | | 平成25年度 | 人 | 人 | | |
| | | | 平成26年度 | 人 | 人 | | |
| 平成25年度 入学者 | — 人 | — 人 | 平成25年度 | 人 | 人 | | — % |
| | | | 平成26年度 | 人 | 人 | | |
| 平成26年度 入学者 | 158 人 | 0 人 | 平成26年度 | 0 人 | 0 人 | | 0 % |
| 合 計 | 158 人 | 0 人 | | | | | 0 % |

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<応用生物科学部 食品安全健康学科>

(1) 授業科目表

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 | | |
|-------------|---------|---------------|------|------|----|----------|--------|----|----|----|----|----|--|
| | | | 必修 | 選択必修 | 選択 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | | |
| 総合教育科目 | 導入科目 | フレッシュマンセミナー | 1前 | 2 | | | 1 | 1 | | | | | 授業運営上の調整による担当者の変更(26) 削除 小野瀬淳一(准教授) 追加 田村倫子(准教授) |
| | | 情報基礎(一) | 1前 | 2 | | | | | | | | | 兼2 授業運営上の調整による担当者の変更 兼4 およびクラス数増加による担当者の追加(26) 削除 浜田直道(兼任) 追加 福岡秀也(兼任) マッキン ケネス ジェームス(兼任) |
| | | 情報基礎(二) | 1後 | 2 | | | | | | | | | 兼2 授業運営上の調整による担当者の変更 兼4 およびクラス数増加による担当者の追加(26) 削除 浜田直道(兼任) 追加 福岡秀也(兼任) マッキン ケネス ジェームス(兼任) |
| | | 特別講義(一) | 1・2通 | | | 2 | | | | | | | 兼1 |
| | | 特別講義(二) | 1・2通 | | | | 2 | | | | | | 兼1 |
| | | 特別講義(三) | 1・2通 | | | | 2 | | | | | | 兼1 授業運営上の調整による担当者の変更(26) 削除 立岩寿一(兼任) 追加 林隆久(兼任) |
| | | 特別講義(四) | 1・2通 | | | | 2 | | | | | | 兼1 本学学長就任のため担当者の変更(26) 削除 高野克己(兼任) 追加 小泉幸道(兼任) |
| | 課題別科目 | 国際・スタディーズ(一)※ | 1前 | | | 2 | 0 + | | | | | | 兼13 授業運営上の調整による担当者の変更(26) 兼44 削除 上原万里子(教授) 藤本尚志(兼任) 服部一夫(兼任) 阿部伸太(兼任) 追加 服部勉(兼任) 鈴木伸二(兼任) 林田まき(兼任) |
| | | 国際・スタディーズ(二) | 1後 | | | 2 | | | | | | | 兼1 辞任により担当者の変更(26) 削除 藤本彰三(兼任) 追加 志和地弘信(兼任) |
| | | 英語(一) | 1前 | 2 | | | | | | | | | 兼5 授業運営上の調整による担当者の変更 兼3 およびクラス数増加による担当者の追加(26) 削除 川谷弘子(兼任) 追加 上原美知子(兼任) 寺本明子(兼任) |
| | 英語科目 | 英語(二) | 1後 | 2 | | | | | | | | | 兼5 授業運営上の調整による担当者の変更 兼3 およびクラス数増加による担当者の追加(26) 削除 市川やよい(兼任) 内田有紀(兼任) 小林薫(兼任) 追加 堀いづみ(兼任) 岡田慶子(兼任) 上原美知子(兼任) 川谷弘子(兼任) 寺本明子(兼任) |
| | | 英語(三) | 2前 | 2 | | | | | | | | | 兼3 |
| | | 英語(四) | 2後 | 2 | | | | | | | | | 兼3 |
| | | 英語リーディング(一) | 2前 | | | 2 | | | | | | | 兼1 |
| 英語リーディング(二) | | 2後 | | | 2 | | | | | | | 兼1 | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 | | |
|----------------|------------------|------------------|-------|----------|----|----------|-----|--------|----|--------|----|--|---|
| | | | 必修 | 選択必修 | 選択 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | | |
| 総合教育科目 | 英語科目 全学共通 | TOEIC英語(一) | 1前 | | | 2 | | 0 4 | | | | 兼2 授業運営上の調整による担当者の変更(26) 削除 岩槻健(准教授) 寺本明子(兼任) 追加 岡田慶子(兼任) | |
| | | TOEIC英語(二) | 1後 | | | 2 | | | | | | 兼1 授業運営上の調整による担当者の変更(26) 削除 堀いづみ(兼任) 追加 上原美知子(兼任) | |
| | | 英会話(一) | 1後 | | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| | | 英会話(二) | 2前 | | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| | | ビジネス英語 | 3前 | | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| | 科学英語(総合教育科目全学共通) | 3後 | | | 2 | | | | | | 兼1 | | |
| | 初修外国語科目 学部共通 | 中国語(一) | 1前 | | | 2 | | | | | | 兼2 兼4 クラス数増加による担当者の追加(26) 追加 張麗(兼任) | |
| | | 中国語(二) | 1後 | | | 2 | | | | | | 兼2 兼1 クラス数増加による担当者の追加(26) 追加 張麗(兼任) | |
| | | スペイン語(一) | 1前 | | | 2 | | | | | | 兼2 兼4 クラス数増加による担当者の追加(26) 追加 マルコ ドミンゲス(兼任) | |
| | | スペイン語(二) | 1後 | | | 2 | | | | | | 兼2 兼4 クラス数増加による担当者の追加(26) 追加 マルコ ドミンゲス(兼任) | |
| | 就職準備科目 全学共通 | スポーツ・レクリエーション(一) | 1前 | | | 1 | | | | | | 兼2 | |
| | | スポーツ・レクリエーション(二) | 1後 | | | 1 | | | | | | 兼2 | |
| | | キャリアデザイン | 2前 | | | 1 | | | | | | 兼1 | |
| | | インターンシップ | 3後 | | | 1 | | | | | | 兼1 | |
| | | ビジネスマナー | 2前 | | | 1 | | | | | | 兼1 | |
| | | 共通演習※ | 1後 | 1 | | | 7 | 5 4 | | 5 6 | | | 教員の昇格による変更(26) 田村倫子(助教→准教授) |
| | 学部共通 | 基礎生物 | 1前 | | | 2 | | | | | | 兼3 | |
| | | 基礎化学 | 1前 | | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| | 専門教育科目 | 創生型科目 | 生命科学※ | 3後 | | | 2 | | | | | | 兼11 |
| | | | 環境科学※ | 3後 | | | 2 | | | | | | 兼7 |
| 食育コース※ | | | 3後 | | | 2 | | | | | | 兼6 | |
| 学際領域科目 学部専門 | | 進化論※ | 2前 | | | 2 | | | | | | 兼2 | |
| | | 起業論 | 3後 | | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| | | 知的財産概論 | 3後 | | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| | | 生産経営概論 | 3後 | | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| | | 食品工学概論 | 3前 | | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| | | 生物工学概論 | 2後 | | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| | | バイオプロセス工学概論 | 3前 | | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| | | 機器分析学概論 | 3前 | | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| | | 科学メディア論 | 3後 | | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| | | 人間関係科目 学科基礎科目 | 生命倫理 | 1前 4後 | 2 | | | | | | | | 兼1 教育効果を考慮し開講学期の変更および担当者の変更(26) 削除 田野尻哲郎(兼任) 追加 川上祐美(兼任) |
| 科学と哲学 | 1前 | | | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| 農と科学の歴史 | 1後 | | | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| 心の構造 | 1後 | | | 2 | | | | | | | 兼1 | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 | | | |
|--------------------|--------------------|------------|-------|------|----|----------|--------|----|----|----|----|----|---|--|
| | | | 必修 | 選択必修 | 選択 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | | | |
| 学科基礎科目 | 社会関係科目 | 日本国憲法 | 2前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| | | 法と社会 | 2前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| | | 経済入門 | 2後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| | | 現代の環境問題 | 2後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| | 自然関係科目 | 生物学 | 1前 | 2 | | | | | | | | 兼1 | | |
| | | 化学 | 1前 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 授業運営上による担当者の変更(26) 削除 渡辺範夫(兼任) 追加 柄山正樹(兼任) | |
| | | 物理学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 授業運営上による担当者の変更(26) 削除 北風和久(兼任) 追加 吉田次郎(兼任) | |
| | | 地学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| | | 統計学 | 1後 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 授業運営上による担当者の変更(26) 削除 鈴川由美(兼任) 追加 久保沙織(兼任) | |
| | | 食品安全健康学概論※ | 1前 | 2 | | | 1 | | | | 1 | | | |
| | 専門基礎科目 | 生化学 | 1後 | 2 | | | | 1 | | | | | | |
| | | 酵素学 | 2前 | 2 | | | | 1 | | | | | | |
| | | 生理学 | 1前 | 2 | | | | 1 | | | | | | |
| | | 微生物学※ | 1前 | 2 | | | 0 + | | | | 1 | | 併設高校(東京農業大学第二高等学校)校長兼務のため担当者の変更(26) 削除 村清司(教授) | |
| | | 有機化学 | 1前 | 2 | | | 1 | | | | | | | |
| | | 無機化学 | 1後 | 2 | | | | | | | | 兼1 | | |
| | | 分析化学 | 1後 | 2 | | | 1 | | | | | | | |
| | | 生物有機化学 | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | | | |
| | | 分子生物学 | 2前 | 2 | | | | 1 | | | | | | |
| | | 細胞生物学 | 2後 | 2 | | | | 1 | | | | | | |
| | | 基礎化学実験 | 1前 | 2 | | | | | | | 3 | | | |
| | | 生化学実験 | 1後 | 2 | | | | 1 | | | 2 | | | |
| | | 生理学実験 | 1前 | 2 | | | 1 | 1 | | | 1 | | | |
| | | 分子生物学実験 | 2後 | 2 | | | | 1 | | | 2 | | | |
| | | 微生物学実験 | 1後 | 2 | | | 0 + | | | | 2 | | 併設高校(東京農業大学第二高等学校)校長兼務のため担当者の変更(26) 削除 村清司(教授) | |
| | | 機器分析学 | 3後 | | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| 科学英語(専門教育科目学科専門) | | 3後 | | | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| 学科専門 | | 専門コア科目 | 食品安全学 | 3前 | 2 | | | 1 | | | | | | |
| | | | 食品化学 | 1後 | 2 | | | 1 | | | | | | |
| | | | 食品物性学 | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | | |
| | 食品機能学 | | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | | | |
| | 食品衛生学 | | 2後 | 2 | | | | | | 1 | | | | |
| | 食品加工保蔵学※ | | 2後 | 2 | | | 1 | | | 1 | | | | |
| | 食糧資源学 | | 2前 | 2 | | | | | | | | 兼1 | | |
| | 病理学 | | 3前 | 2 | | | 1 | | | | | | | |
| | 公衆衛生学 | | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | | | |
| | 病原微生物学 | | 1後 | 2 | | | | | | | | 兼1 | | |
| | 一般毒性学 | | 3前 | 2 | | | | 1 | | | | | | |
| | 栄養機能学 | | 2前 | 2 | | | 1 | | | | | | | |
| | 生体高分子学 | | 3前 | 2 | | | | 1 | | | | | | |
| | 物質分析学 | | 2後 | 2 | | | 1 | | | | | | | |
| | 食品衛生・安全学実験 | | 3前 | 2 | | | 1 | 1 | | 1 | | | | |
| | 食品化学実験 | | 2前 | 2 | | | 1 | 1 | | 1 | | | | |
| | 食材利用学実習 | | 2後 | 3 | | | 1 | | | 1 | | 兼1 | | |
| | 食品安全健康学実験(食品安全解析学) | | 3後 | | 2 | | 1 | | | 1 | | | | |
| 食品安全健康学実験(食品安全評価学) | 3後 | | 2 | | 1 | 1 | | 1 | | | | | | |
| 食品安全健康学実験(食品利用安全学) | 3後 | | 2 | | 2 | | | 1 | | | | | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 |
|--------|--------------------|--------------------|-----|------|----|----------|-----|----|----|----|----|
| | | | 必修 | 選択必修 | 選択 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 専門教育科目 | 専門コア科目 学科専門 | 食品安全健康学実験(分子機能学) | 3後 | 2 | | 1 | 1 | | 1 | | |
| | | 食品安全健康学実験(生理機能学) | 3後 | 2 | | 1 | 1 | | 1 | | |
| | | 食品安全健康学実験(生体環境解析学) | 3後 | 2 | | 1 | 1 | | 1 | | |
| | | 食材生化学 | 2前 | | 2 | 1 | | | | | |
| | | 食品生理活性学 | 3前 | | 2 | 1 | | | | | |
| | | 病態分子生物学 | 3後 | | 2 | 1 | | | | | |
| | | 免疫学 | 3後 | | 2 | | | 1 | | | |
| | | 放射線科学 | 3後 | | 2 | | | | | | 兼1 |
| | | 遺伝子工学 | 3後 | | 2 | 1 | | | | | |
| | | 遺伝毒性学 | 3後 | | 2 | 1 | | | | | |
| | | 感性科学※ | 3前 | | 2 | 1 | | | | | 兼1 |
| | | 生物統計学※ | 3後 | | 2 | 1 | | | | | 兼1 |
| | | 生理活性物質学 | 2後 | | 2 | 1 | | | | | |
| | | ケミカルバイオロジー | 3後 | | 2 | 1 | | | | | |
| | | バイオインフォマティクス演習 | 3後 | | 2 | | | | | | 兼1 |
| | | リスクマネジメント論 | 3前 | | 2 | | | | | | 兼1 |
| | インターナショナルフードアセスメント | 3後 | | 2 | | | | | | 兼1 | |
| 総合科目 | 卒業論文 | 4通 | 4 | | | 7 | 4 | | 6 | | |
| | 研究倫理 | 3前 | 1 | | | | | | | 兼1 | |

- (注)・認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

| 設置時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備考 |
|--------|----|----|-----|------|----|----|----|----|
| 必修 | 選択 | 自由 | 計 | 必修 | 選択 | 自由 | 計 | |
| 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | |
| 45 | 70 | 0 | 115 | — | — | — | — | |

- (注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。){とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 未開講の理由，代替措置の有無 |
|----|-------|-----|------|-------|-------|----------------|
| 1 | 該当なし | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 廃止の理由，代替措置の有無 |
|----|-------|-----|------|-------|-------|---------------|
| 1 | 該当なし | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

| |
|------|
| 該当なし |
|------|

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{} \quad 0.00\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

| 区 分 | | 内 容 | | | | 備 考 | | | |
|---------------------|-----------------------------------|--|--|---|--|--|--|--|--|
| (1) 校 地 等 | 区 分 | 専 用 | 共 用 | 共用する他の 学校等の専用 | 計 | 東京農業大学短期大学部及び 東京農業大学第一高等学校 (収容定員975人、面積基準 運動場8,400㎡)、中等部(収 容定員525人、面積基準 運動 場6,450㎡)と共用 借用面積：1,385.58㎡ 借用期限：平成27年3月31日 借用面積：3,950.00㎡ 借用期限：平成27年3月31日 借用面積：3,570.24㎡ 借用期間：60年 厚木キャンパス隣地土地の購入の ため(26) 群馬中木山部分林造林契約の 一部解約のため(26) 二宮柑橋園を校地から除外し たため(26) | | | |
| | 校舎敷地 | 247,911.20㎡ 243,592.20㎡ | 116,679.96㎡ | 15,350.76㎡ | 379,941.92㎡ 375,622.92㎡ | | | | |
| | 運動場用地 | 30,100.00㎡ | 33,633.66㎡ | 6,453.99㎡ | 70,187.65㎡ | | | | |
| | 小 計 | 278,011.20㎡ 273,692.20㎡ | 150,313.62㎡ | 21,804.75㎡ | 450,129.57㎡ 445,810.57㎡ | | | | |
| | そ の 他 | 2,270,813.14㎡ 2,273,339.14㎡ | 394,737.20㎡ 410,675.20㎡ | 0㎡ | 2,665,550.34㎡ 2,684,014.34㎡ | | | | |
| | 合 計 | 2,548,824.34 2,547,031.34㎡ | 545,050.82㎡ 560,988.82㎡ | 21,804.75㎡ | 3,115,679.91 3,129,824.91㎡ | | | | |
| (2) 校 舎 | 専 用 | 102,043.90㎡ 97,317.18㎡ 99,298.12㎡ (-97,317.18㎡) | 85,498.85㎡ 86,942.04㎡ 86,205.30㎡ (-86,942.04㎡) | 共用する他の 学校等の専用 5,423.18㎡ 5,445.86㎡ 5,423.18㎡ (-5,445.86㎡) | 計 192,965.93㎡ 189,705.08㎡ 190,926.60㎡ (-189,705.08㎡) | 東京農業大学短期大学部と共 用 既設学部における改修工事等 による用途変更のため(26) | | | |
| | 講 義 室 | 103室 | 102 104室 | 648 639室 | 9 1室 | | | | |
| | 演 習 室 | | | | | | | | |
| | 実験実習室 | | | | | | | | |
| (3) 教 室 等 | 講 義 室 | 103室 | 102 104室 | 648 639室 | 9 1室 | 大学全体 既設学部における改修工事等 による用途変更のため(26) | | | |
| | 演 習 室 | | | | | | | | |
| (4) 専任教員研究室 | 新設学部等の名称 | | 室 数 | | | | | | |
| | 応用生物科学部 食品安全健康学科 | | 6 室 | | | | | | |
| (5) 図 書 ・ 設 備 | 新設学部等 の名称 | 図 書 〔うち外国書〕 冊 | 学術雑誌 〔うち外国書〕 種 | 電子ジャーナル 〔うち外国書〕 | 視聴覚資料 点 | 機械・器具 点 | 標 本 点 | 図書冊数の減少は、新規購入 を上回る除籍本があったため (26) 学術雑誌は、設置時の記述に 誤りがあり訂正(26) 視聴覚資料は、新規購入に伴 う変更(26) | |
| | 応用生物科学部 食品安全健康学科 | 149,522 [32,244] 194,296 [33,429] (149,522 [32,244]) (194,296 [33,429]) | 2,627 [1,049] 385 [75] (2,627 [1,049]) (385 [75]) | 2,225 [977] 3,330 [3,103] (2,225 [977]) (3,330 [3,103]) | 12,822 12,816 (12,822) (12,816) | 1,101 1,101 (1,101) (1,101) | 197 197 (197) (197) | | |
| | 計 | 149,522 [32,244] 194,296 [33,429] (149,522 [32,244]) (194,296 [33,429]) | 2,627 [1,049] 385 [75] (2,627 [1,049]) (385 [75]) | 2,225 [977] 3,330 [3,103] (2,225 [977]) (3,330 [3,103]) | 12,822 12,816 (12,822) (12,816) | 1,101 1,101 (1,101) (1,101) | 197 197 (197) (197) | | |
| | | | | | | | | | |
| (6) 図 書 館 | 面 積 | | 閱 覧 座 席 数 | | 収 納 可 能 冊 数 | | 大学全体 新図書館棟面積確定に伴う修 正(26) | | |
| | 8,026.19㎡ 8,022.55㎡ | | 962 1,362 | | 926,882 1,138,274 | | | | |
| (7) 体 育 館 | 面 積 | | 体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要 | | | | | | |
| | 10,371.27㎡ | | 野 球 場 2 面 テ ニ ス コ ー ト 8 面 | | | | | | |
| (8) 経費の見積り及び維持方法の概要 | 経費の見積り | 区 分 | 開設年度 | 完成年度 | 区 分 | 開設前年度 | 開設年度 | 完成年度 | 図書費には電子ジャーナル・ データベースの整備費及び雑 誌資料費を含む。 |
| | | 教員1人当り研究費等 | 312千円 | 312千円 | 図書購入費 | 5,565千円 | 2,287千円 | 9,453千円 | |
| | 共同研究費等 | 2,538千円 | 10,493千円 | 設備購入費 | 37,886千円 | 7,066千円 | 29,209千円 | | |
| | 学生1人当り 納付金 | 第1年次 | 第2年次 | 第3年次 | 第4年次 | 第5年次 | 第6年次 | | |
| | 1,435.6千円 | 1,245.6千円 | 1,295.6千円 | 1,345.6千円 | 千円 | 千円 | | | |
| 学生納付金以外の維持方法の概要 | | 私立大学等経常費補助金収入、寄付金収入、手数料収入 等 | | | | | | | |

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

| 大学の名称 | 東京農業大学 | | | | | | | | 備考 |
|------------------|----------|------------------|--------------------|------------------|------------------|-------------|------------------|----------------------|---------------------------------|
| 既設学部等の名称 | 修業 年限 | 入 定 学 員 | 編入学 員 定 員 | 収 定 容 員 | 学位又 は称号 | 平均定員 超過率 | 開 設 年 度 | 所 在 地 | |
| | 年 | 人 | 年次 人 | 人 | | 倍 | | | |
| 農学部 | | | | | | | | | |
| 農学科 | 4 | 220 | 3年次 16 | 912 | 学士 (農学) | 1.16 | 昭和24年 | 神奈川県厚木市 船子1737番地 | |
| 畜産学科 | 4 | 180 | 3年次 10 | 740 | 学士 (農学) | 1.16 | 昭和24年 | 同上 | |
| バイオテクノロジー学科 | 4 | 140 | 3年次 10 | 580 | 学士 (農学) | 1.15 | 平成18年 | 同上 | |
| 応用生物科学部 | | | | | | | | 東京都世田谷区 桜丘1丁目1番1号 | |
| バイオサイエンス学科 | 4 | 140 | 3年次 10 | 580 | 学士 (応用 生物科学) | 1.19 | 平成10年 | 同上 | |
| 生物応用化学科 | 4 | 140 | 3年次 10 | 580 | 学士 (応用 生物科学) | 1.13 | 平成10年 | 同上 | |
| 醸造科学科 | 4 | 140 | 3年次 20 | 600 | 学士 (応用 生物科学) | 1.16 | 平成10年 | 同上 | |
| 栄養科学科 食品栄養学専攻 | 4 | — | — | — | 学士 (応用 生物科学) | — | 平成10年 | 同上 | 平成26年4月より 学生募集停止 |
| 食品安全健康学科 | 4 | 140 | 3年次 10 | 580 | 学士 (応用 生物科学) | 1.12 | 平成26年 | 同上 | 平成26年4月設置 |
| 栄養科学科 | 4 | 80 | 3年次 4 | 328 | 学士 (応用 生物科学) | 1.00 | 平成10年 | 同上 | 平成26年4月より 専攻名(管理栄養 士専攻)削除 |
| 地域環境科学部 | | | | | | | | | |
| 森林総合科学科 | 4 | 140 | 3年次 6 | 572 | 学士 (地域 環境科学) | 1.13 | 平成10年 | 同上 | |
| 生産環境工学科 | 4 | 140 | 3年次 3 | 566 | 学士 (地域 環境科学) | 1.13 | 平成10年 | 同上 | |
| 造園科学科 | 4 | 140 | 3年次 20 | 600 | 学士 (地域 環境科学) | 1.15 | 平成10年 | 同上 | |
| 国際食料情報学部 | | | | | | | | | |
| 国際農業開発学科 | 4 | 140 | 3年次 10 | 580 | 学士 (国際 食料情報学) | 1.18 | 平成10年 | 同上 | |
| 食料環境経済学科 | 4 | 220 | 3年次 10 | 900 | 学士 (国際 食料情報学) | 1.17 | 平成10年 | 同上 | |
| 国際バイオビジネス学科 | 4 | 170 | 3年次 5 | 690 | 学士 (国際 食料情報学) | 1.18 | 平成10年 | 同上 | |

| 大学の名称 | 東京農業大学 | | | | | | | | 備考 |
|------------|-----------|-----|-------|-----|--------------|---------|-------|----------------------|---|
| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入定員 | 編入定員 | 収定員 | 学位又は称号 | 平均定員超過率 | 開年度 | 所在地 | |
| 生物産業学部 | | | | | | | | 北海道網走市八坂196番地 | |
| 生物生産学科 | 4 | 100 | 3年次10 | 420 | 学士(農学) | 1.16 | 平成元年 | 同上 | |
| アケバ付学科 | 4 | 80 | — | 320 | 学士(農学) | 1.18 | 平成18年 | 同上 | |
| 食品香粧学科 | 4 | 80 | 3年次12 | 344 | 学士(農学) | 1.13 | 平成元年 | 同上 | |
| 地域産業経営学科 | 4 | 90 | 3年次5 | 390 | 学士(経営学) | 1.17 | 平成元年 | 同上 | 平成24年4月から 学科名変更 産業経営学科→地 域産業経営学科 平成24年4月から 入学定員変更 地域産業経営学科 100→90(△10) |
| 大学の名称 | 東京農業大学大学院 | | | | | | | | 備考 |
| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入定員 | 編入定員 | 収定員 | 学位又は称号 | 平均定員超過率 | 開年度 | 所在地 | |
| 農学研究科 | | | | | | | | | |
| 博士前期課程 | | | | | | | | | |
| 農学専攻 | 2 | 14 | — | 28 | 修士(農学) | 1.03 | 昭和28年 | 神奈川県厚木市 船子1737番地 | |
| 畜産学専攻 | 2 | 12 | — | 24 | 修士(畜産学) | 0.83 | 昭和61年 | 同上 | |
| バクテリア学専攻 | 2 | 10 | — | 20 | 修士(バクテリア学) | 0.80 | 平成22年 | 同上 | |
| バクテリア学専攻 | 2 | 30 | — | 60 | 修士(バクテリア学) | 1.30 | 平成14年 | 東京都世田谷区 桜丘1丁目1番1号 | |
| 農芸化学専攻 | 2 | 25 | — | 50 | 修士(農芸化学) | 1.04 | 昭和32年 | 同上 | |
| 醸造学専攻 | 2 | 12 | — | 24 | 修士(醸造学) | 1.50 | 平成2年 | 同上 | |
| 食品栄養学専攻 | 2 | 12 | — | 24 | 修士(食品栄養学) | 0.83 | 昭和61年 | 同上 | |
| 林学専攻 | 2 | 12 | — | 24 | 修士(林学) | 0.79 | 昭和61年 | 同上 | |
| 農業工学専攻 | 2 | 8 | — | 16 | 修士(農業工学) | 0.68 | 平成2年 | 同上 | |
| 造園学専攻 | 2 | 12 | — | 24 | 修士(造園学) | 0.87 | 平成2年 | 同上 | |
| 国際農業開発学専攻 | 2 | 12 | — | 24 | 修士(国際農業開発学) | 0.87 | 平成2年 | 同上 | |
| 農業経済学専攻 | 2 | 10 | — | 20 | 修士(農業経済学) | 0.55 | 昭和28年 | 同上 | |
| 国際バクテリア学専攻 | 2 | 12 | — | 24 | 修士(国際バクテリア学) | 0.83 | 平成14年 | 同上 | |

| 大学の名称 | 東京農業大学大学院 | | | | | | | | | 備考 |
|----------------|-----------|------------------|----------|------------------|------------------|-------------|------------------|----------------------|-----------|----|
| 既設学部等の名称 | 修業 年限 | 入 定 学 員 | 編入学 員 | 収 定 容 員 | 学位又 は称号 | 平均定員 超過率 | 開 設 年 度 | 所 在 地 | | |
| 農学研究科 | | | | | | | | | | |
| 博士後期課程 | | | | | | | | | | |
| 農学専攻 | 3 | 5 | — | 15 | 博士(農学) | 0.13 | 昭和37年 | 神奈川県厚木市 船子1737番地 | | |
| 畜産学専攻 | 3 | 4 | — | 12 | 博士(畜産学) | 0.33 | 平成2年 | 同上 | | |
| バイオテクノロジー学専攻 | 3 | 3 | — | 9 | 博士(バイオテクノロジー学) | 0.77 | 平成24年 | 同上 | 平成24年4月設置 | |
| バイオサイエンス専攻 | 3 | 6 | — | 18 | 博士(バイオサイエンス) | 0.55 | 平成16年 | 東京都世田谷区 桜丘1丁目1番1号 | | |
| 農芸化学専攻 | 3 | 5 | — | 15 | 博士(農芸化学) | 0.20 | 昭和34年 | 同上 | | |
| 醸造学専攻 | 3 | 2 | — | 6 | 博士(醸造学) | 0.16 | 平成14年 | 同上 | | |
| 食品栄養学専攻 | 3 | 2 | — | 6 | 博士(食品栄養学) | 1.16 | 平成14年 | 同上 | | |
| 林学専攻 | 3 | 4 | — | 12 | 博士(林学) | 0.16 | 平成2年 | 同上 | | |
| 農業工学専攻 | 3 | 2 | — | 6 | 博士(農業工学) | 0.66 | 平成14年 | 同上 | | |
| 造園学専攻 | 3 | 3 | — | 9 | 博士(造園学) | 0.00 | 平成14年 | 同上 | | |
| 国際農業開発学専攻 | 3 | 2 | — | 6 | 博士(国際農業開発学) | 0.66 | 平成14年 | 同上 | | |
| 農業経済学専攻 | 3 | 5 | — | 15 | 博士(農業経済学) | 0.40 | 昭和37年 | 同上 | | |
| 国際バイオテクノロジー学専攻 | 3 | 5 | — | 15 | 博士(国際バイオテクノロジー学) | 0.40 | 平成16年 | 同上 | | |
| 環境共生学専攻 | 3 | 5 | — | 15 | 博士(環境共生学) | 0.66 | 平成2年 | 同上 | | |

| 大学の名称 | 東京農業大学大学院 | | | | | | | | 備考 |
|-----------|-----------|------|-------|------|----------------|---------|-------|--------------------|--|
| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入定学員 | 編入学員 | 収定容員 | 学位又は称号 | 平均定員超過率 | 開年度 | 所在地 | |
| 生物産業学研究科 | | | | | | | | | |
| 博士前期課程 | | | | | | | | | |
| 生物産業学専攻 | 2 | — | — | — | 修士(生物産業学又は経営学) | — | 平成5年 | 北海道網走市八坂196番地 | 平成22年4月より学生募集停止(生物産業学部博士前期課程) |
| 生物生産学専攻 | 2 | 7 | — | 14 | 修士(生物産業学) | 0.92 | 平成22年 | 同上 | |
| アグリバイオ学専攻 | 2 | 5 | — | 10 | 修士(生物産業学) | 0.80 | 平成22年 | 同上 | |
| 食品香粧学専攻 | 2 | 5 | — | 10 | 修士(生物産業学) | 1.10 | 平成22年 | 同上 | |
| 産業経営学専攻 | 2 | 3 | — | 6 | 修士(経営学) | 0.33 | 平成22年 | 同上 | |
| 生物産業学研究科 | | | | | | | | | |
| 博士後期課程 | | | | | | | | | |
| 生物産業学専攻 | 3 | 8 | — | 24 | 博士(生物産業学又は経営学) | 0.70 | 平成7年 | 同上 | |
| 大学の名称 | 東京情報大学 | | | | | | | | 備考 |
| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入定学員 | 編入学員 | 収定容員 | 学位又は称号 | 平均定員超過率 | 開年度 | 所在地 | |
| 総合情報学部 | 年 | 人 | 年次人 | 人 | | 倍 | | 千葉県千葉市若葉区御成台4丁目1番地 | |
| 情報システム学科 | 4 | — | — | — | 学士(総合情報学) | — | 平成13年 | 同上 | 平成25年4月より学生募集停止(情報システム学科・環境情報学科・情報ビジネス学科・情報文化学科) |
| 環境情報学科 | 4 | — | — | — | 学士(総合情報学) | — | 平成13年 | 同上 | |
| 情報ビジネス学科 | 4 | — | — | — | 学士(総合情報学) | — | 平成17年 | 同上 | |
| 情報文化学科 | 4 | — | — | — | 学士(総合情報学) | — | 平成8年 | 同上 | |
| 総合情報学科 | 4 | 500 | 3年次10 | 2020 | 学士(総合情報学) | 0.94 | 平成25年 | 同上 | 平成25年4月設置 |

| 大学の名称 | 東京情報大学大学院 | | | | | | | | 備考 |
|-------------------------------|-----------|----------|------------|----------|---------------|-------------|------------------|-------------|----|
| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入定 学員 | 編入学員 定員 | 収容 定員 | 学位又は 称号 | 平均定員 超過率 | 開 設 年 度 | 所 在 地 | |
| 総合情報学研究科 博士前期課程 総合情報学専攻 | 2 | 15 | — | 30 | 修士(総合 情報学) | 0.46 | 平成17年 | 同上 | |
| 総合情報学研究科 博士後期課程 総合情報学専攻 | 3 | 3 | — | 9 | 博士(総合 情報学) | 0.33 | 平成17年 | 同上 | |

| 大学の名称 | 東京農業大学短期大学部 | | | | | | | | 備考 |
|----------|-------------|----------|------------|----------|------------------------|-------------|------------------|----------------------|---------------------------------|
| 既設学部等の名称 | 修業 年限 | 入定 学員 | 編入学員 定員 | 収容 定員 | 学位又は 称号 | 平均定員 超過率 | 開 設 年 度 | 所 在 地 | |
| 短期大学部 | 年 | 人 | 年次 人 | 人 | | 倍 | | 東京都世田谷区 桜丘1丁目1番1号 | |
| 生物生産技術学科 | 2 | 130 | — | 260 | 短期大学士 (生物生産技 術学) | 1.12 | 平成4年 | 同上 | |
| 環境緑地学科 | 2 | 70 | — | 140 | 短期大学士 (環境緑地 学) | 1.19 | 平成4年 | 同上 | |
| 醸造学科 | 2 | 80 | — | 160 | 短期大学士 (醸造学) | 1.14 | 平成4年 | 同上 | |
| 栄養学科 | 2 | 100 | — | 200 | 短期大学士 (栄養学) | 1.05 | 平成4年 | 同上 | 平成26年4月定員 変更150→100(△ 50) |

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- 「平均定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
 - 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - 大学、短期大学においては学科単位(短期大学において専攻課程を置くときは専攻課程単位)、大学院においては専攻単位で記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

| 区 分 | 留 意 事 項 | 履 行 状 況 | 未履行事項について の実施計画 |
|--------------------------------|---------|---------|--------------------|
| 設 置 時 (平成25年6月) | 該当なし | | |
| 設置計画履行状況 調 査 時 (平成26年2月) | 該当なし | | |

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<応用生物科学部 食品安全健康学科>

(1) 設置計画変更事項等

| 設置時の計画 | 変更内容・状況, 今後の見通しなど |
|-----------------------|--|
| ① 履修科目の登録の上限：50単位（年間） | ① 授業前後の学修時間確保のため、履修科目の登録の上限：49単位（年間）とした。 |

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

| |
|---|
| <p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 全学的な組織として、全学審議会の下に、全学FD・教育評価委員会（平成26年度から名称変更「教学検討委員会」を設置している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 原則として毎月開催している。 委員（教員）は、副学長（教学担当）、研究科委員長、学部長、短期大学部長の役職者を充てている。</p> <p>c 委員会の審議事項等 ・ 教学に関する事項（年間授業計画・時間割・学外オリエンテーション・特別講義、等） ・ カリキュラム改正に関する事項 ・ FD活動に関する事項（シラバス・授業評価・FD研修会、等）</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 ・ 新任教員のための研修会 ・ 自己教育評価</p> <p>b 実施方法 ・ 新任の専任教員全員を対象に、学長・副学長・研究科委員長等から、教員としての心得・建学の精神などについて説明を行った。 更に、学部学科単位で独自の研修やフォローアップを行っている。 ・ 専任教員全員を対象に、毎年、教育研究活動に関する自己評価アンケートを実施している。 設問項目は95項目にわたり、結果を所属毎・職階毎に集計し、平均点や得点分布等を所属長及び本人にフィードバックしている。</p> |
|---|

- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・平成26年度は4月中旬に開催した。新任の専任教員は全員が参加した。
 - ・平成26年度は2月に実施した。
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・新任研修において、建学の精神や沿革など農大独自の方針や歴史を理解させることにより、本学の特長である研究室での教育研究活動の活性化につながっている。
 - ・FD活動への積極的な取り組みとして、農大におけるFD定義の明確化や、学生による授業評価の実施率向上と評価結果の活用を推進したいと考えている。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期

毎年、学期末に実施している。
 - b 教員や学生への公開状況、方法等

PCや携帯電話により、WEBシステムから授業評価を実施している。

結果をグラフ化し、担当教員にフィードバックしている。

学生への公開していない

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

食品安全健康学科においては、土台となる化学・生物学等の基礎学問をしっかりと身につけることを基盤として、「食の安全・安心」においては、これまでの主たる対象であった病原微生物学の枠にとらわれず、健康被害を生ずる危害の発生をあらゆる角度から検証する教育を実施し、一方では、健康維持に寄与する食品の機能性因子の持つ生理活性を、分子間さらには臓器・組織間の相互作用として理解する教育も実施することで、食というものを正負の両面から総合的に学べる教育環境を構築する。研究分野の枠にとらわれず、未知の食品の機能性因子や危険因子の分子機能的解析から生体環境中での影響を評価し、さらに、それらの知見を食品の安全利用や危険因子の迅速な検出に応用していくという、柔軟性と機動性を兼ね備えた新しいタイプの学科構築をめざす。本学科は社会への迅速な情報発信あるいは国際的評価基準等の策定を可能とする総合的食品研究の拠点として、食の安全、健康上の問題両面に対する解決力を備えた食品技術者・研究者・教育者・行政官としての幅広い人材育成を目標としている。

開学初年度にあたる平成26年度入学試験（一般入試）では合格倍率が6.8倍となり、本学科に対する高校生のニーズが高いことをあらためて確認することができた。新入生158名を迎え入れ、学科の目的にそった教育研究を確実に実行し、社会から必要とされる人材を養成していく所存である。

② 自己点検・評価報告書

- a 公表（予定）時期
 - ・平成25年6月3日 公表済み

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開（平成25年6月）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成24年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審し、大学基準に適合していると認定された。認証機関は平成25年4月1日から平成32年3月31日まで。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (2014年 6月30日)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (年 月 日)